

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市鯉城学園

団体名：社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

※複数の団体により構成されるグループは各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設管理運営の基本方針等

昭和 61 年の開学から鯉城学園を運営してきた「ノウハウ」、各区社会福祉協議会の協力によって発揮される「地域性」、卒業生組織である鯉城会との「協力関係」を最大限に活かすとともに、時代の変化に対応する新たな取り組みを実践することで、学園の設置目的である「高齢者の生きがい向上と社会的活動への参加の促進」を図り、地域社会の活性化に寄与することを目指します。

②管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

【職員配置及び人材の確保】

副学長兼コーディネーター 1名（以下、「副学長」という）

学園運営全般を統括するとともに、職員の指導、教育を行いサービスの向上に努めます。また楽陶館の責任者およびコーディネーターを兼ねます。

地域活動指導員兼コーディネーター 1名（以下、「地域活動指導員」という）

学生や卒業生の社会的活動の参加意欲を高める取り組みや、学生会、鯉城会、卒業生同期・同好会活動の相談に応じその活動を支援します。また、コーディネーターを兼務し、地域活動学習講座のカリキュラム編成等を行います。

コーディネーター 5名※

5名を配置し、専攻・クラス担当制を導入します。

※令和5年度は2年生の専攻が第4期指定管理期間の編成となるため7名とし、令和6年度より5名とします。

事務職員 3名 …事務長1名、事務員1名、短時間事務員1名

事務長は学園の事務関係全般を統括するとともに、職員の指導、教育を行いサービスの向上に努めます。

楽陶館 4名 …主任陶芸指導員1名、陶芸実習指導員2名、楽陶館事務主任（副館長）1名

楽陶館は副学長を館長、楽陶館事務主任を副館長とするほか、実習指導に従事する職員を配置します。

【育成計画】

副学長

管理監督者として、本会が実施する部長級研修に参加し、マネジメント、労務管理、メンタルヘルスなどについて能力を高めます。また、定例の本会幹部会に参加し、他所属との情報共有を図ります。

その他職員

コーディネーター、地域活動指導員及び事務職員は、本会が実施する「地域福祉関係業務研修」等の研修を受講し、本会が実施する地域福祉推進業務についての理解を深めるとともに、社会的課題の現状、ボランティア活動の現状、高齢者の心理などを学び、学生の社会的活動に関する情報提供や相談に活用できるよう努めます。

また、生涯学習に関する外部研修等に積極的に参加し職員の資質向上を図ります。

(2) 事業運営の実施計画について

①講座の実施

運営要綱に定めのある教養講座、地域活動学習講座、専門講座を実施します。

- ①教養講座及び地域活動学習講座（学年全体が一斉に鯨城ホールで受講）

教養講座 年20講座

地域活動学習講座 年6講座 程度を予定。

- ②専門講座（原則クラス単位で講義室等にて受講）

年26講座程度を予定。2学年合計の年間総講座回数は728講座程度を予定。

②ICTに関する学習の実施

一人でも多くの高齢者がICTの利便性を身近なものと感じることができ、必要なICTのスキルを身につけるとともに、さらにはこのスキルを地域活動の実践の場でも活用できるようにすることを学習の目標とし、以下の事項に取り組みます。

- ①共通講座を利用した学園全体での学習
- ②暮らし専攻でのより専門的な学習
- ③学生による「ICT相互相談支援」の検討
- ④初心者向けスマートフォン教室の開催
- ⑤学園内のICT学習環境の整備と学生の自主的な学びの支援

③行事の実施

運営要綱に定めのある入学式、オリエンテーション及び卒業式の他、独自に修学旅行、体育祭及び文化祭の実施を提案します。提案事項の行事では「仲間づくりの機会を重視」するとともに、体育祭、文化祭については学生の自主活動として位置付け、行事の企画や運営を学生主体で担うことで、相互学習、友情と連帯を育みます。

- ①入学式【1年生・4月】※必須事項
- ②オリエンテーション（入学予定者説明会・クラブ登録会）【1年生・4月】※必須事項
- ③自主活動ガイダンス【1年生・5月】※提案事項
- ④修学旅行【2年生・10月】※提案事項
- ⑤体育祭【全学年・9月】※提案事項
- ⑥文化祭【全学年・11月】※提案事項
- ⑦卒業式【2年生・3月】※必須事項

④学生の自主活動の実施

運営要綱に定めのあるクラス活動、クラブ活動、学生会の諸活動の他、独自に社会的活動への参加を自主活動と位置づけます。また、行事で実施を提案した体育祭及び文化祭も自主活動として位置付け、行事の企画や運営を学生主体で担うことで、相互学習、友情と連帯を育みます。

⑤地域活動の支援策

自らの主体性をもって地域活動の核となって中心的に活動していくことができる人材づくりを柱として、各区社会福祉協議会や鯨城会の持つ地域とのネットワークや地域活動に関するノウハウなど組織としての総合力を十分に活用し、学生自身が地域社会から求められる役割と参加の意識を学ぶことができる実践的なプログラムを実施します。

⑥学生確保の取組み・学園の広報

本会の組織のスケールメリットや多様なネットワークを活用した幅広い広報活動の中で、学園の意義や魅力を地域の隅々まで伝えていくことが学生確保につながる取り組みの根幹であると考えます。

また、多くの市民の入学したいという思いを大切に、既成の考え方に捉われない柔軟な考え方と対応に基づいた学生確保に取り組みます。

⑦学生以外の者を対象とした事業の実施

学園のPRや理解者の拡大を図るため、実際の授業やクラブ活動を見学、長期休暇中の鯨城ホールを活用した講座の実施、年間行われる行事の見学を行います。

⑧鯨城ホールの活用策

共通講座や公開講座をはじめとする学園事業で使用するほか、一般利用の拡大のために、鯨城ホールパンフレットの活用やホームページ上での予約情報の提供に取り組みます。また、鯨城ホールをより快適にご利用いただくための設備の充実に努めます。

⑨施設管理の実施計画

学園の各部屋・機器について、専門業者の定期点検と、職員による日常点検、そして時には利用者である学生からの情報提供等により、必要な保全管理を行い、利用者の安全第一をモットーに、安定した運用を図ります。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

(1) 収入合計（5年間計）

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
利用料による収入(②)	61,531	55,469	57,433	57,433	57,433	289,299
指定管理料(支払金額)	80,981	72,710	70,746	70,746	70,746	365,929
固定経費(①-②-③)	78,693	70,422	68,458	68,458	68,458	354,489
鯨城ホールの利用実績に伴う経費(=③)※	2,288	2,288	2,288	2,288	2,288	11,440
合 計(=①)	142,512	128,179	128,179	128,179	128,179	655,228

(2) 支出合計（5年間計）

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
人件費	81,672	72,064	72,064	72,064	72,064	369,928
物件費	60,840	56,115	56,115	56,115	56,115	285,300
ア 学生の募集選考	4,535	4,535	4,535	4,535	4,535	22,675
イ 入学式	62	62	62	62	62	310
ウ 講義・実習	19,384	14,659	14,659	14,659	14,659	78,020
エ 行事	688	688	688	688	688	3,440
オ 卒業式	307	307	307	307	307	1,535
カ 実習農園	3,355	3,355	3,355	3,355	3,355	16,775
キ 楽陶館	6,118	6,118	6,118	6,118	6,118	30,590
ク 運営委員会	115	115	115	115	115	575
ケ 事務費	25,133	25,133	25,133	25,133	25,133	125,665
コ 地域活動支援	753	753	753	753	753	3,765
サ 新たな提案事業	390	390	390	390	390	1,950
合 計	142,512	128,179	128,179	128,179	128,179	655,228

※この提案の概要は候補者になった場合、市公式ウェブサイト等で公表されます。